

平成26年4月23日

地域経済産業調査（平成26年1-3月期）結果

〈全体の動向〉

今期（1-3月期）の近畿経済は、着実に持ち直している。

生産は、液晶、半導体等電子部品は海外需要が端境期のため横ばいであるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などにより、自動車、建設資材、小型建設機械、白物家電は好調、半導体製造装置は堅調である。

設備投資は、製造業において高度化投資及び新製品開発投資等の国内投資がみられ、非製造業では物流施設、新規出店、店舗改装等への投資の動きがみられる。











雇用は、完全失業率や有効求人倍率が引き続き改善傾向を示しており、持ち直している。

個人消費は、消費税率引き上げに伴う駆け込みが日用品から高額品まで幅広く小売業全般で見られており、国内旅行、レジャー関連も好調であるが、今後の消費動向は不透明。

〈個別の動向〉

- （1）生産：持ち直しの動きである。
- （2）設備投資：緩やかに持ち直している。
- （3）雇用情勢：持ち直している。
- （4）個人消費：持ち直している。

〈これまでの基調判断の推移〉

	平成25年1-3月期	平成25年4-6月期	平成25年7-9月期	平成25年10-12月期	平成26年1-3月期
全国					
	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	持ち直している	持ち直している
近畿					
	持ち直しの動きがみられる	持ち直している	持ち直している	着実に持ち直している	着実に持ち直している

（参考）今回、本調査の対象機関（85）、実施期間（平成26年2月20日～3月25日）

本件のお問い合わせ先）

近畿経済産業局総務企画部調査課長 尾仲

担当：奥田、小谷 電話：06-6966-6004

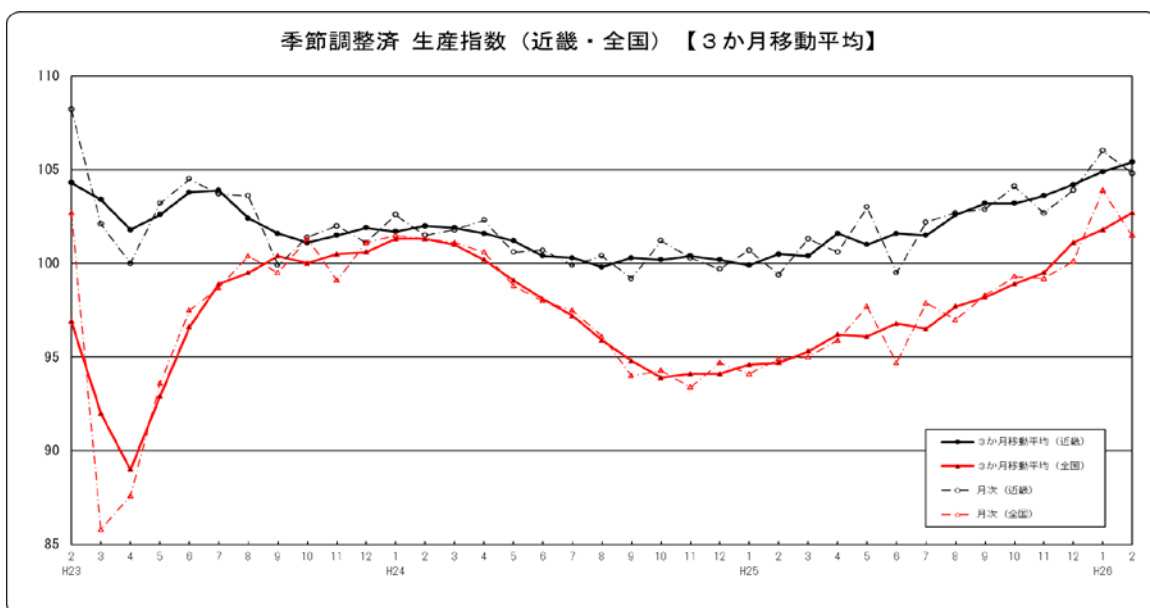
生産 ～持ち直しの動きである～

太陽電池は好調。消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などにより、自動車、建設資材、白物家電、小型建設機械は好調。液晶、半導体等電子部品は海外需要が端境期のため横ばい。半導体製造装置は堅調に推移。生産設備関連は内需も回復傾向にあり、持ち直しの動き。

先行き（4-6月期）については消費税増税後の反動減を懸念する声が多いものの、自動車や半導体等電子部品では落ち込み幅が少ないとの見方も聞かれた。

【企業の生の声】

- 太陽電池はフル生産。特に産業用が好調。【情報通信機器】
- 設備稼働率は100%。先行き（4-6月期）が下がる見込み。【輸送用機器】
- 自動車関連が薄板を中心に国内・海外向けともに好調であり、増産見込み。【鉄鋼】
- 建設資材の駆け込み需要が多く、フル生産に近い。【鉄鋼】（中小企業）
- エアコンは足元の出荷が好調なこともあり若干だが増産。【電気機器】
- 白物家電は、駆け込み需要や買い換え需要により好調であるが、消費税増税の反動減で4-6月は落ち込むことを覚悟している。【電気機器】
- 工場（小型建機等）はフル生産の状況。想定以上の駆け込み需要があり、4月以降の反動減を心配。【生産用機械器具】
- 半導体メーカーの設備投資が引き続き好調なため、前期とほぼ同様に相対的に良い。【生産用機械器具】
- △今期は季節トレンドで閑散期。先行きは、自動車やスマートフォンが上り調子になるため、好況の見通し。【電子部品・デバイス】
- △液晶の工場稼働率は前期（10-12月期）と比べて横ばいで推移。【情報通信機器】
- △内需（電機・精密機械関連も）が持ち直してきている。生産設備の稼働率は100%を超えている。【生産用機械器具】（中小企業）



（注）近畿・全国：平成22年基準（平成22年＝100）

設備投資 ～緩やかに持ち直している～

製造業では、自動車関連企業を中心に高度化投資や製品開発投資など国内投資を増やす動きが出始めている。生産性の向上を目的に、生産設備の維持・更新、工場の補修・改修、省エネ・新エネへの取り組みが目立つ。非製造業では、物流施設、新規出店、店舗改装、空港施設等で前向きな投資意欲がみられる。

海外向けは、引き続き「地産地消」、「現地調達」の拡大のもと生産増強の投資を行うとの企業が多い。

【企業の生の声】

- 自動車分野で電子化が進んでいるため増額予定。基本的には国内への設備投資がメイン。【電気機器】
- 26年の設備投資計画は大幅に増額。自動車、半導体、情報システムに投資。今期の投資は国内の投資に重点を置いている。【業務用機械器具】
- 国内では工場に新設した太陽光発電設備のほかは既存設備の維持・更新が中心。今後は海外への新規の設備投資を増加する予定。【業務用機械器具】
- Eコマース市場の拡大と先端物流施設のニーズ増加により、投資の中心は物流施設。【総合工事業】
- メガソーラーが稼働。26年度以降は空港ターミナル改修、整備、暫定駐機場の設備投資計画。【運輸サービス業】
- △ハード面等生産設備を作るのではなく研究開発用に投資する。【生産用機械器具】
- △出店用地がない、他業種との複合店への出店がなかったことから新規出店は前年度と同程度。【各種小売業】
- ・維持補修、省エネ、合理化を進められる投資を進めていく。【プラスチック製品】(中小)
- ・例年と同額程度で省エネ設備投資に重点的に取り組みたい。【繊維工業】(中小)
- ・海外企業との提携もあり設備投資や研究開発は増加傾向。グローバルなニッチ分野でトップ企業を目指す。【電気機器】(中小)
- ・新規出店数は抑制し、既存店のリフレッシュに注力予定【各種小売業】

全国企業短期経済観測調査

		(前年度(前年同期)比:%)											
前年度 (前年同期)比	近 畿						全 国						
	2013年度 (見込み)			2014年度 (計画)			2013年度 (見込み)			2014年度 (計画)			
	上期	下期(見込み)	上期(計画)	下期(計画)	上期	下期(見込み)	上期	下期(見込み)	上期(計画)	下期(計画)			
全産業	5.5	▲ 6.1	15.5	2.4	24.8	▲ 13.3	5.2	4.6	5.7	▲ 4.2	3.7	▲ 10.6	
製造業	3.5	▲ 12.5	19.0	2.4	20.9	▲ 10.8	3.1	▲ 5.0	10.4	1.2	15.6	▲ 10.1	
大企業	4.5	▲ 11.8	20.2	1.7	21.4	▲ 12.1	2.1	▲ 9.2	12.5	3.6	17.6	▲ 6.9	
中堅企業	▲ 17.3	▲ 33.4	1.0	20.6	33.5	10.9	▲ 1.7	▲ 9.4	5.4	8.7	27.6	▲ 6.3	
中小企業	20.9	25.9	16.0	▲ 12.0	▲ 17.3	▲ 6.3	13.3	20.5	7.4	▲ 16.0	▲ 2.8	▲ 28.3	
非製造業	6.8	▲ 1.5	13.4	2.4	27.3	▲ 14.9	6.3	10.0	3.5	▲ 6.9	▲ 2.1	▲ 10.8	
大企業	6.9	▲ 2.9	14.8	2.0	29.3	▲ 16.5	4.8	5.2	4.6	▲ 1.6	6.1	▲ 7.3	
中堅企業	6.6	17.2	▲ 2.3	11.1	10.7	11.5	4.7	9.8	0.4	▲ 5.4	▲ 4.6	▲ 6.2	
中小企業	0.5	▲ 1.0	1.7	▲ 8.0	6.1	▲ 19.9	14.2	30.2	1.4	▲ 28.9	▲ 27.3	▲ 30.6	

データ出所: 日本銀行(含む 土地投資額)

(大企業: 資本金10億円以上、中堅企業: 同1億円~10億円未満、中小企業: 同2千万円~1億円未満) 2014/4/1公表

雇用情勢 ～持ち直している～

業況が改善してきている自動車、住宅、非鉄金属等では、社員、パートなどが増員され、部門間で過不足を調整する動きが続いている。また一部で人手不足の声が聞かれた。海外事業展開については引き続きグローバル人材が求められている。

景気回復に伴い、新規採用を増加させる動きが出ているが、大手に人材が流れる、求人しても応募がないといった声が聞かれた。また有資格者や即戦力となる技術者を中途採用する動きが引き続きみられた。

【企業の生の声】

○毎年繊維事業部は雇用が減少傾向にあったが、26年度は繊維部門、営業部門での新卒・中途採用を予定。【化学】

○施工管理者が不足している。製造部門の非正規社員の雇用がやや増加している。

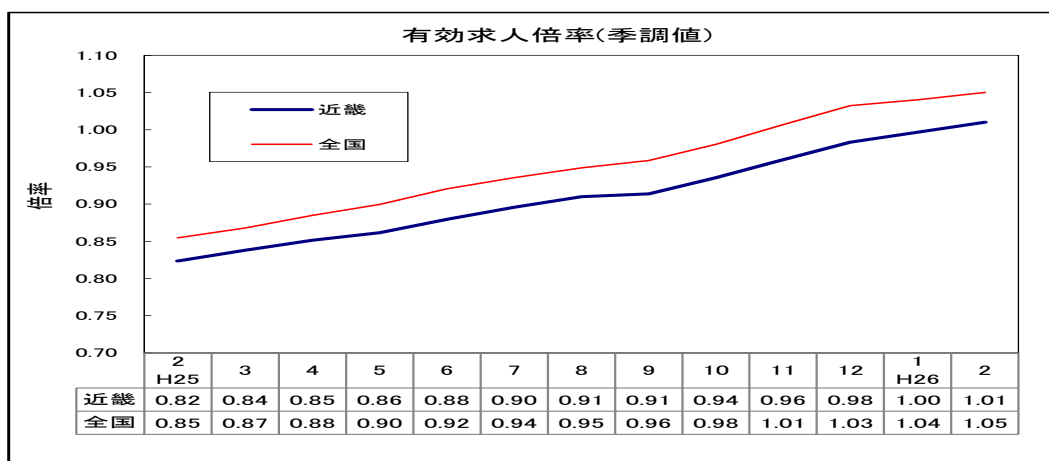
【総合工事業】

○海外拠点のマネジメント層人材（日本人で海外経験がある人材）のニーズが高まっている。【労働者派遣業】

○大手メーカーからの転職者（40～50代）を中途採用している。【電気機械】（中小）

○工事が増加し、工事現場の施工管理者が不足しており中途採用で対応。【総合工事業】

- ・不足感あり。パート・アルバイトは募集してもなかなか来てもらえない。【各種小売業】
- ・生産増が続いているため、10～3月についても引き続き他工場から正社員の応援を受けている。【生産用機械器具】
- ・自動車向け工場は地域によっては不足感があるため、産業機械部門の人員を投入して対応。【はん用機械器具】
- ・海外事業展開に関わる人材が不足。社内で計画的な育成プランを実施。【繊維工業】
- ・大手企業の雇用が回復すると学生がネームバリューのある企業に流れがちなので、新規採用に影響が出なければよいが。【窯業土石】
- ・景気がよくなると大手などにいい人材が流れ、採用するのが難しくなるかもしれない。【鉄鋼】（中小）
- ・薬剤師の確保は引き続き厳しい。パートから社員への登用や専門職から調剤業務へ異動したりしている。【各種小売業】



データ出所：厚生労働省「一般職業紹介状況」

個人消費 ～持ち直している。～

消費税率引き上げに伴う駆け込みが、比較的早期に日用品から高額品まで広く小売業全般でみられた。百貨店では株高による資産効果や所得環境の改善などから引き続き高額品の販売が好調を維持し、軽乗用車等の自動車販売も高水準となっている。家電販売では、より大型の液晶テレビへの買い換えや住宅関連需要もあり白物家電等が堅調。海外旅行は低調であるが、国内旅行、レジャー施設は好調が継続。なお、国内の高額品商品、宿泊などでは東南アジアを中心とする外国人観光客の影響が大きくなっている。

消費税率引き上げ後の消費の落ち込みはその幅や期間、影響について様々な意見に分かれており総じて不透明な状況。

【企業の生の声】

- 1～2月も駆け込み需要の要素はみられ、3月は駆け込み需要分がプラスされると見込んでいる。12月のボーナス期に増額があったこともあり、消費マインドが改善している。【各種小売業】
- 時計や宝石・特撰プレタブランドの好調が持続。皮小物やビジネスシューズなど多少長持ちするものが売れている。【各種小売業】
- 11月以降軽自動車は依然順調であり、土曜日にも生産を行っており増産となる。【輸送用機械】（中小）
- 白物家電は全体的に堅調。液晶テレビは国内は好調。【情報通信機器】
- エアコンは消費税増税前の駆け込みと建築着工の堅調さにより家庭用・業務用ともに好調に推移。【電気機器】
- 国内旅行は順調。TDL、USJについても予想以上に好調。【その他事業サービス業】
- 海外からの宿泊者数も来日旅行者数の増加やUSJの好調に呼応する形で好調。台湾、韓国、中国が多いがASEANの増加が著しい。【その他事業サービス業】
- △4月以降落ち込むものの5月の連休頃までで、その後売上は戻ると見込む。【機械器具小売業】
- ×消費税増税の影響は4-6月以降も続き、長引くのではないか。【繊維工業】（中小）

